

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1115	(H.24)No.	1115
-----------	------	-----------	------

事務事業名		観光振興対策費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		観光交流室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	1	魅力ある観光地づくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	観光振興対策費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
観光振興のため、観光資源の活用と観光施設の整備を図る。	

めざす効果(事業目的)	
名張市の知名度の向上と観光入込客数の増加を目指す。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	・旅費 305千円 ・需用費 2,415千円 ・委託料 1,672千円 ・賃借料 40千円 ・報償費 45千円 ・負担金 1,024千円 ・補修費 146千円	・旅費 521千円 ・需用費 2,120千円 ・委託料 8,575千円 ・賃借料 50千円 ・報償費 50千円 ・負担金 851千円	補助金・交付金	その他 ()		
直接事業費	5,646千円	12,167千円	12,167千円	12,167千円	12,167千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	5,646	12,167	12,167	12,167	12,167	
人工数	職員	0.18人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人
	臨時職員等	0.07人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
概算人件費	(0千円) 1,433千円	4,058千円	4,058千円	4,058千円	4,058千円	
+ 総事業費	(0千円) 7,079千円	16,225千円	16,225千円	16,225千円	16,225千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	観光協会ホームページへの1日平均アクセス件数	-	-	-	-	440
	実績		410	283	290	350	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
観光施設整備や誘致活動事業の展開により、活動指標である観光協会のホームページのアクセス件数は増加しています。	名張市の知名度向上、観光入込客数の増加に向け、引き続き事業を推進します。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
誘客対象者やニーズ等に特段の変化はないものと考えます。	< 考査委員会-主な意見 - > 名張は多くの観光資源を有するが外部に知られていない。外部評価や観光資源の分析等を行うマーケティング戦略が必要と考える。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="text" value="できる"/>	ホームページの内容を工夫すること等による情報発信力強化
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="text" value="検討余地がある"/>	他の個別の観光振興策と連携し、総合的に取り組むことにより、相乗効果が期待できる。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="text" value="できない"/>	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない <input type="text" value="ある"/>	多数の地域ビジョンに誘客活動の推進があります
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) <input type="text" value="反映済み"/>	考え方として共通する部分を反映しています。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="text" value="検討余地がある"/>	他の個別の観光振興策と連携し、総合的に取り組むことにより、相乗効果が期待できる。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) <input type="text" value="継続(事務改善)"/>
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
<input type="text"/>

特記事項
<input type="text"/>